

さくらい 市議会だより



定例会の概要、トピックス…… 8
 主な議案の議決結果…… 9
 各議員の賛否…… 10
 予算特別・常任委員会…… 10・11
 代表・一般質問…… 12・13
 平成 28 年度新役員決定…… 14

平成 28 年 3 月定例会報告

政治倫理条例を制定！

平成 28 年度

一般会計予算 228 億 9、800 万円に

定例会の概要

平成 28 年 3 月定例会は、3 月 1 日から 22 日までの 22 日間の会期で開かれました。

今定例会では、報告案件 1 件、平成 28 年度一般会計予算などの予算案 9 件、条例の制定 5 件、条例の一部改正 15 件、契約の締結 1 件および平成 27 年度の補正予算 4 件をすべて可決・承認しました。また、選挙管理委員および補充員の選出、委員会提出議案 2 件、議員発議による意見書 2 件を可決したほか、人事案 1 件を承認しました。

トピックス

桜井市政治倫理条例を全会一致で可決！

この条例は、議員と市長等が、市民との相互の信頼関係を確立するためのものであり、市民全体の奉仕者として人格の向上と倫理の確立に努め、公正で開かれた民主的な

市政の発展に寄与していくことを目的として制定するものです。

条例のポイント（抜粋）

（政治倫理基準）

第 4 条 **市長等及び議員が**

遵守しなければならない事項

○市民全体の奉仕者として品位及び名譽を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関して不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしないこと。

○権限又は地位を利用して、いかなる金品も授受しないこと。

選挙区内における香典を自粛します

※桜井市議会では、平成 28 年 4 月 1 日より選挙区内の香典を自粛することを申し合わせました。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

主な議案の議決結果

議案番号	件名	概要	議決結果
議案第1号 (予算特別委員会)	平成28年度桜井市一般会計予算	予算総額 228億9,800万円 (前年度比 0.7%増)	可決 (賛成多数) ※賛否は別表
議案第4号 (予算特別委員会)	平成28年度桜井市国民健康保険特別会計予算	予算総額 81億5,992万5,000円 (前年度比 0.6%減)	可決 (賛成多数) ※賛否は別表
議案第10号 (総務委員会)	平成27年度桜井市一般会計補正予算(第4号)	補正額 2億6,951万7,000円 臨時福祉給付金支給費で低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金にかかる所要額ならびに塵芥処理費でリサイクルセンターにおける火災爆発の復旧にかかる工事請負費等	可決 (賛成全員)
議案第14号 (文教厚生委員会)	桜井市保健福祉センター条例の制定について	旧奈良県桜井総合庁舎を桜井市の福祉・医療の拠点施設として活用するにあたり、条例の制定を行う。	可決 (賛成全員)
議案第30号 (文教厚生委員会)	桜井市重度心身障害者手当支給条例の一部改正について	制度改正に伴う一部改正	可決 (賛成全員)
議案第32号 (文教厚生委員会)	桜井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び桜井市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	引用する省令の一部改正に伴い、関係条例の一部改正を行う。	可決 (賛成全員)
議案第33号 (文教厚生委員会)	桜井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準(平成26年厚生労働省令第61号)の改正に伴い、引用する当該条例の一部改正を行う。	可決 (賛成全員)
議案第34号 (文教厚生委員会)	特定事業契約の締結について	【契約の目的】桜井市立学校給食センター整備事業【契約方法】一般競争入札(総合評価落札方式)【契約金額】2,785,359,108円に事業契約書に定める方法により算定した物価変動等に伴う増減額並びに当該増減額に係る消費税及び地方消費税相当額を加算した額【契約期間】契約締結の日から平成45年3月31日まで【契約の相手方】桜井給食ファシリティーズ株式会社	可決 (賛成全員)
委員会提出 議案第1号	桜井市政治倫理条例の制定について	倫理上問題となる行為を条例として明文化することで、市民との相互の信頼関係を形成する基盤とする。	可決 (賛成全員)
委員会提出 議案第2号	出産に伴う議会の欠席に関する規定を設ける標準会議規則の改正について	地方議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため手続きを明確化する。	可決 (賛成全員)

議案番号	件名	概要	議決結果
選 第1号	桜井市選挙管理委員及び補充員の選挙について	選挙管理委員（土谷好秀氏・山田維久子氏・南元一氏・土佐元成氏）選挙管理委員補充員（山形満子氏・内藤久子氏・西本巳喜男氏・夢山禎一氏）	選挙
発議案1号	無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書について	提出先 衆議院議長 参議院議長	可決 (賛成全員)
発議案2号	地方公会計の整備促進に係る意見書の提出について	提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣	可決 (賛成全員)
諮 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	大字谷 南野知子氏	承認 (賛成全員)

他 報告案件1件 平成28年度特別会計予算6件 平成28年度水道事業会計1件 平成27年度特別会計補正予算3件 条例の制定4件 条例の一部改正12件

※すべての議案一覧については、桜井市議会ホームページまたは、桜井市議会事務局にてご覧いただけます。

各議員の賛否（賛成・・・○ 反対・・・× 棄権・・・△ 欠席・・・－）※議長は表決に加わりません

議員	議員															
	大園光昭	金山成樹	井戸良美	大西亘	工藤将之	阪口豊	我妻力	西忠吉	藤井孝博	吉田忠雄	岡田光司	土家靖起	東俊克	工藤行義	札辻輝已	高谷二三男
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	○	○	○
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	○	○	○

平成28年度予算を審査
予算特別委員会

委員会審査の一部を紹介

（平成28年3月14日開催）

予算特別委員会（8名で構成）

委員長 土家靖起
副委員長 吉田忠雄
委員 工藤行義
岡田俊克
東俊克
西忠吉
我妻力
大西亘
金山成樹
藤井孝博

問 ※経常収支比率が、前年より5.8%悪化し、104.5%となった要因は何か。

答 類似団体と比較して、人件費に大差ないが、物件費や公債費、扶助費が高いことが一番の要因と考ええる。グリーンパークの管理運営費についても話し合いを進めているところであり、中期財政計画の中で財政の健全化を図っていききたい。

問 道の狭い地域での、ごみ収集やふれあい収集を今後どのように進める考えか。

答 住民の高齢化や道の狭い地域等による排出困難者への対応が喫緊の課題であり、小さい収集車を予算計上するとともに、ふれあい収集の充実を図るべく、1名の採用も行った。今後は高齢世帯等の見守りや安否確認を行う上で、お互いの顔が見える信頼できる関係づくりが必要となってくることから収集の体制づくりや対象者、対象地区の選定のルール化を順次試行しながら進めたい。

問 がん検診については、前向きな対応により、受診率も上がり、結果も出ているが、胃がんのリスク検査についてはどうか。

答 受診率の向上も見られ、胃がん以外の検査も来年から導入すべく、予算案に計上した。ピロリ菌検査等についても、医師会と意見を統一しながら今後検討していききたい。

※経常収支比率…：財政の弾力性を示す指数であり、低いほど財政に余裕がある。

常任委員会の審査から

総務委員会（付託案件1件）

桜井市一般会計補正予算（第4号）について（抜粋）

問 空き家活用ファンド造成のための出捐金を組んだ経緯と市のかかわりはどうか。また、今後同様の要望があれば応える考えか。

答 まちづくりファンドについては、過去に初瀬においてもつくられ、本市としても支援した経緯がある。今後も地元がまとまり、その地域を活性化しようという取り組みの中で、まちづくり会社を立ち上げていただけるならば、積極的に支援したい。

問 リサイクルセンターの火災爆発における対策は今後のように図っていくのか。

答 新たにスプレー缶等の可燃ガスを使った缶や使い捨てライターの分別集を4月と7月に実施し、かごに入れたものをパッカー車ではなく、ダンプ車で回収する

考えである。

問 道路維持修繕工事費が5千6百万円減額されているが支障は出ないのか。

答 今年度に限り、交付金の配分が悪かった結果であり、橋梁補修等推進化計画において27年度に予定していた4カ所を3カ所に減らすなど影響も出たが、28年度予算には盛り込んだ。

問 観光費のインバウンド関連事業は具体的にどうか。

答 情報発信事業については、海外向けのホームページの作成やメディアへの掲載である。受入環境整備事業については、おもてなしの取り組みであり、本市のおもてなし協議会に委託する考えである。戦略マーケティング事業については、個人の旅行者の志向分析などをコンサルティング会社に委託し、それぞれの事業を同時に進めることで、少しでも多くの外国人に超越していただきたい。

※出捐金：返還の必要のない拠出金

文教厚生委員会

（付託案件5件）（抜粋）

桜井市重度心身障害者手当支給条例の一部改正について

問 重度心身障害者の手当支給額が障害の程度に応じ、3段階であったものが、一律1,200円に減額される。3千円から減額される方にとっては、厳しいものになるのではないか。十分な配慮を願う。

答 昭和50年に制度化された事業であるが、医療費の自己負担額も軽減されていることから改正を行った。すべての対象者にご理解いただけない面もあることから、きめ細やかな対応に努めたい。



新給食センターイメージ図

桜井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び桜井市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について

問 改正に伴い、大きく変わる点は何か。

答 平成28年4月から定員18名以下の通所介護事業所が、県の指定から市の指定に変わり、事業経費の見直しや指定の取り消しも市が行うことになる。

特定事業契約の締結について

問 十分な監視体制が必要と考えるがどうか。

答 モニタリングについては、建設事業はコンサルタントに委託し、専門的な目で行う。運営は落ち着いた段階で、市が受け継ぐ考えである。

ご意見をお聞かせください！

広報「わかざくら」に合わせ、市議会のページもリニューアルいたしました。今後はカラーページでご報告をさせていただきます。

今後より見やすくなりやすい紙面を指してまいりますのでよろしく願います。

また、これからは皆様にも参加していただけるような企画も行っていきたいと考えています。その節はご協力をお願いいたします。

新しくなった議会ページへのご意見を募集しています。電話または、FAXであなたのご意見をお聞かせください。

議会事務局

（☎）42・9132・
FAX 46・5930



一般質問

少年・少女のスポーツ振興、支援について

井戸 良美 議員

問 スポーツ庁が、平成 27 年度に実施した小学 5 年、中学 2 年の男女を対象とした全国体力テストの結果で奈良県は、中学 2 年男子の他は全国平均を下回っている。本市は少年少女の体力の向上にむけ、どのように支援していく考えか。

答 体力総合点で、県平均を上回ったのは、小学 5 年生女子のみであったことから、各学校で運動時間を増やし、運動好きの子ども育成に取り組んでいる。また、新年度より、子ども若者わくわくチャレンジ奨励金により、目標を持ってスポーツや芸能文化に取り組む子どもや若者を支援していきたい。

【その他の質問項目】

- 桜井市に功績のあった人に対する表彰について



一般質問

桜井駅南口エリアの活性化と事業について

東 俊克 議員

問 新年度、桜井駅南口エリアでは、賑わいと活気を取り戻すために、どのように取り組む考えか。

答 駅前再開発ビル「エルト桜井」においては、国の先導的官民連携支援事業を活用し、賑わいと交流をもたらすための拠点となる機能の配置や事業手法等を広く検討していく。併せて国に対し、立地適正化計画の経過措置を活用し大規模改修ができるよう要望しているところである。また、本町通りは、おもむきのある街並み・景観を地域と一緒にあって保存・活用すべく、官民が連携して一日でも早く活性化できるよう、全力で取り組みたい。地域の皆さんが、商工会、地元金融機関と一緒に、新たに立ち上げられる「まちづくり会社」には、大いに期待しており、株式会社である場合、出資し、支援していきたい。



一般質問

鳥獣被害対策について

金山 成樹 議員

問 平成 26 年度の野生鳥獣による農作物被害は、全国で約 191 億円にのぼるが、本市の被害状況はどれ程か。丹精込めて育てた農作物が、イノシシや鹿に荒らされた時の生産者の落胆の気持ちは察するに余りある。近年、住居施設への被害なども含め、対策はどうか。

答 中山間での野菜、タケノコ、米などに、2,653 万円の被害が出ている。年々、被害が増加していることから、農林業等の被害軽減を目的に桜井市鳥獣被害防止対策協議会を設立し取り組んでおり、平成 28 年度には平成 25 年度の被害総額の 30% を削減したい。イノシシが市街地でも確認されるようになり、各課連携して注意喚起等に取り組み、対応に当たっている。

【その他の質問項目】

- 定住促進の取り組みについて



一般質問

清掃作業員の採用募集について

土家 靖起 議員

問 経常収支比率が 104.5% と県下で一番悪く、全国でもワースト 10 に入るという報道に対し、市民から不安の声を多く聞く。第 1 次・第 2 次行財政改革を継承する考えであれば、清掃作業員は採用すべきでない。なぜ直ぐにでも 3 名乗車を 2 名乗車にし、民間委託を進めないのか。

答 ごみの排出困難者や道の狭い地域の対策、高齢世帯の見守りや安否確認、収集・搬入されたごみの展開検査などを行うため、1 名の採用を行った。業務の外部化については、ごみ収集業務に限らず、検証を進め、第三者委員会の設置も他市を参考に検討したい。

【その他の質問項目】

- ふるさと納税に対する取り組みについて
- 中和幹線沿道の企業誘致について



一般質問

防災への取り組みについて

岡田 光司 議員

問 地域防災計画について、どの点を見直す考えか。また、この防災計画に概要版を作成する考えはないか。BCP（業務継続計画）の進捗状況はどうか。

答 災害対策基本法の改正や県地域防災計画の見直しを受け、整合性を図ると共に、避難行動用名簿に記載する方々の範囲や指定緊急避難場所の災害種別ごとの指定等を行った。概要版については、市民にわかりやすく広報するために前向きに検討していく。BCPについては、引き続き検討を行うが、ICT部門のBCPについては、策定に向け推進して行く。

【その他の質問項目】

- インフルエンザ等が発生した際の対応について



一般質問

妊産婦助成制度について

大園 光昭 議員

問 本市の今後の人口目標は、平成52年、2040年に5万1,232人とされているが、それを実現する為に、妊産婦助成制度として、マタニティタクシークーポン等の導入が必要と考えるがどうか。

答 まずは本市で生活し、出産を望む妊婦さんが、どのようなことを希望されているかといった調査や整理が必要と考える。それらを踏まえ、8月にオープンする保健福祉センター陽だまりにおいて、出産、子育てに対し、切れ目のない支援ができるメニューを提案していけるよう取り組みたい。

【その他の質問項目】

- まほろばセンター利活用について



一般質問

子どもの医療費の助成制度について

吉田 忠雄 議員

問 子どもの医療費については、今年8月の診療分から通院についても中学校卒業まで助成されることになった。子どもが病気やけがをしたときに、お金のことを気にかけなければならないような社会であってはならないと考える。県に対して、窓口での支払いをなくす「現物給付方式」にするよう、市長会を通じ要望されたい。

答 現物給付方式に変更するには、県下市町村の意思統一や各医療機関の協力が必要である。今後とも市長会の中でも話をまとめ、県との協議をおこなっていききたい。

【その他の質問項目】

- 国民健康保険制度について



一般質問

不登校児童生徒への対応について

大西 亘 議員

問 不登校のきっかけとなる状況は様々であるが、一人ひとりの多様な課題に対して切れ目のない組織的な支援が必要と考える。教育支援センターの設置を含め、今後の取り組みはどうか。

答 家庭との連携強化を図りながら、早期に児童生徒の状況に応じた対応を心がけている。また、市内4中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、学校教職員等にな指導や助言を行っている。適応指導教室さくらの広場の充実を図りながら、将来的に教育支援センターの設置も検討していきたい。

【その他の質問項目】

- 国土強靱化地域計画について
- 自殺対策について

平成28年 新役員選出

平成28年第1回臨時議会が5月9日に開かれ、平成28年新役員の選出が行われました。

議長 我妻 力



副議長 井戸 良美



監査委員 大西 巨



役員紹介

常任委員会

総務委員会

委員長 土家靖起
副委員長 金山成樹
委員 大園光昭
委員 工藤将之
委員 阪口豊
委員 我妻力
委員 吉田忠雄
委員 岡田光司

文教厚生委員会

委員長 札辻輝巳
副委員長 吉田忠雄
委員 井戸良美
委員 大西巨
委員 工藤将之
委員 西藤孝博
委員 藤井孝博

東俊克
工藤行義
高谷三三男

土家靖起
東俊克
高谷三三男

産業建設委員会

委員長 工藤行義
副委員長 大園光昭
委員 金山成樹
委員 井戸良美
委員 大西巨
委員 阪口豊
委員 西藤孝博
委員 藤井孝博

岡田光司
札辻輝巳

議会運営委員会

委員長 高谷三三男
副委員長 工藤将之
委員 大西巨
委員 岡田光司
委員 東俊克
委員 工藤行義

議会広報委員会

委員長 工藤将之
副委員長 大園光昭
委員 大園成樹
委員 大西巨
委員 阪口豊
委員 吉田忠雄

正副議長あひかり

この度、私たちは、さる5月9日に開催されました平成28年第1回臨時議会において議員皆様の推挙によりまして議長並びに副議長に就任致しました。あらためてその使命の大きさと職責の重大さを痛感しております。

さて、地方分権の進展とともに、地方自治体の自己決定・自己責任の範囲が拡大していく中、市政運営の一翼を担う市議会の果たすべき役割と責任は、今後ますます重要になると認識しております。

市政60周年を迎え、わが桜井市議会におきましても、市民に開かれた議会を目指して、なお一層、議会改革等にも取り組んでまいりますとともに、常に市民の目線に立ちながら民意を的確に反映し、市民の皆さまと共に安全で安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

今後、議員は「市民の代表である」との原点に立ち、議員一人ひとりが十分に役割を発揮し、信頼される議会の確立に取り組んでまいりますので、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会だよりは、桜井市議会ホームページ (<http://www.city.sakurai.lg.jp/sosiki/gikaijimukyoku/index.html>) にも掲載しております。